

令和5年12月12日

会員各位

一般社団法人 日本生殖医学会
理事長 大須賀 穰
社会保険担当理事 寺田 幸弘
(公印略)

日本産科婦人科学会による「精子凍結保存実施についてのお願い」の発出について

拝啓 平素より本会事業へのご支援ご協力を賜りありがとうございます。

さて、本会では、令和5年12月12日に公益社団法人日本産科婦人科学会(以下、日産婦)より、別紙のように「精子凍結保存実施についてのお願い」の発出、に関する周知依頼を受理いたしました。

医学的理由による精子凍結保存につきましては、令和6年度診療報酬改定におきまして、本会および共同提案学会(日産婦、日本産婦人科医会)より、「射出精子凍結・融解に関する診療報酬点数の新設」として医療技術評価提案(保険未収載技術)を行っているところです。また、患者都合による精子凍結保存につきましては、「一般不妊治療および生殖補助医療において、患者都合で精子凍結・融解を実施した際の料金の徴収」として、本会より選定療養に導入すべき事例等として提案を行っております。

上記提案の採否結果はまだ出ておりませんが、会員の皆様におかれましては、今回、日産婦より発出される内容に関連する医療行為を行う場合には、精子凍結保存を適切に実施するようにお願いいたします。

敬具

令和 5 年 12 月 9 日

一般社団法人日本生殖医学会
理事長 大須賀 穰 殿

公益社団法人日本産科婦人科学会
理事長 加藤聖子
生殖・内分泌委員会委員長 岩瀬 明

「精子凍結保存実施についてのお願い」の発出について

謹啓

時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

今般、本会で実施した精子凍結保存の実態調査結果に基づき、別紙のように本会会員への告知を行うことといたしました。

本医療行為に関連する貴会にお知らせいたしますとともに、貴会関係者にご周知いただきますようお願い申し上げます。

謹白



公益社団法人 日本産科婦人科学会

〒104-0031 東京都中央区京橋2丁目2番地8号 明治屋京橋ビル3階
TEL : 03-4330-2864 FAX : 03-4330-2865 E-mail : nissanfu@jsog.or.jp

日本産科婦人科学会会員各位

精子凍結保存実施についてのお願い

高度乏精子症・逆行性射精等の医学的事由により不妊治療を実施する場合は、疾患の重症化に伴い精子採取が困難になるリスクがあることに鑑み、治療に供する精子の由来（射出および手術的採取）、治療手段（人工授精および体外受精・顕微授精）に関わらず、必要と判断される症例には、精子凍結保存を適切に実施するようお願いいたします。

令和5年12月9日

公益社団法人日本産科婦人科学会
理事長 加藤聖子
生殖・内分泌委員会委員長 岩瀬 明